

解答プリント「中学社会・歴史的分野」

■補充プリント

単元:13 第二次世界大戦後の日本

【評価の観点】 ㊦：思考・判断・表現 ㊧：技能 ㊨：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ ① 日本国憲法</p> <p>㊦ ② 中華人民共和国</p> <p>㊦ ③ 朝鮮戦争</p> <p>㊦ ④ サンフランシスコ平和条約</p> <p>㊦ ⑤ アジア・アフリカ会議</p> <p>㊦ ⑥ 日ソ共同宣言</p> <p>㊦ ⑦ 日中共同声明</p>	<p>㊦ ① 日本国憲法は、大日本帝国憲法を改正するという形で国会の承認を経て、公布・施行されたが、内容は大きく異なっている。</p> <p>② 第二次世界大戦後、中国では毛沢東が指導する共産党と、蒋介石が指導する国民党との間で内戦が続いていたが、共産党が勝利し、国民党は台湾に逃れた。</p> <p>③ 南の大韓民国をアメリカ軍を主力とする国連軍、北の朝鮮民主主義人民共和国を中華人民共和国の義勇軍が支援した。</p> <p>④ 朝鮮戦争が始まったことで、アメリカは日本を西側諸国の一員とするため、講和条約の締結を急いだ。</p> <p>⑤ 欧米諸国から独立したアジア・アフリカ諸国のうち、29か国が会議に参加した。</p> <p>⑥ 1954年に誕生した鳩山一郎内閣が、1956年日ソ共同宣言に調印し、ソ連との国交を回復した。</p> <p>⑦ 1972年、田中角栄首相が中国を訪問して発表した声明である。</p>
<p>㊦ (1) 国際連合</p> <p>㊦ (2) 極東国際軍事裁判</p> <p>㊦ (3) 自衛隊</p> <p>㊦ (4) ベトナム戦争</p>	<p>㊦ (1) 国際連合は第二次世界大戦中の1945年6月に署名された国際連合憲章にもとづき、同年10月に成立した。</p> <p>(2) 東京裁判ともよばれる。太平洋戦争開戦時に首相であった東条英機ら25名の裁判が行われた。</p> <p>(3) 現在、自衛隊は世界有数の戦力を保持している。</p> <p>(4) 1960年ごろから始まった戦争は、1973年にアメリカ軍が撤退したことで、1975年に終結した。</p>
<p>㊨ (1) 農地改革</p> <p>㊨ (2) 平和主義</p> <p>㊨ (3) 南北問題</p> <p>㊨ (4) 日米安全保障条約</p> <p>㊨ (5) 非核三原則</p>	<p>㊦ (1) 山林は農地改革の対象とされなかったため、大山林地主はそのまま残された。</p> <p>(2) 平和主義は、憲法前文と第9条に規定されている。</p> <p>(3) 発展途上国間での、資源に恵まれている国とそうでない国との経済格差を「南南問題」とよんでいる。</p> <p>(4) 日米安全保障条約は現在も自動延長され、日本各地に米軍基地が置かれている。</p> <p>(5) 非核三原則のうち、「持ちこませず」は日本側に確認する手段がないため、事実上黙認されている形となっている。</p>